

令和6年(1月～12月)労働災害の発生状況

労働者死傷病報告(休業4日以上)の死傷災害により作成

()内の数値は死亡者数(内数)を表す

新型コロナウイルス感染症のり患者数を除く

(1)業種別の労働災害発生状況(対前年比)

3月集計

【表1 業種別の労働災害発生状況】

但馬労働基準監督署

業 種	令和6年(1月～12月)			前 年 同 期			前 年 比 較			
	死傷者数 (人)	構成比 (%)	()	死傷者数 (人)	構成比 (%)	()	増減数 (人)	増減率 (%)	()	
全 産 業	148	100.0%	()	188 (2)	100.0%	(100.0%)	-40 (-2)	-21.3%	(-100.0%)	
第一・二次産業計 (運輸交通業、貨物取扱業を 含む)	83	56.1%	()	108 (1)	57.4%	(50.0%)	-25 (-1)	-23.1%	(-100.0%)	
製 造 業	36	24.3%	()	49	26.1%	()	-13 ()	-26.5%	(-)	
鉱 業	1	0.7%	()	1	0.5%	()	()	()	(-)	
建 設 業	19	12.8%	()	29 (1)	15.4%	(50.0%)	-10 (-1)	-34.5%	(-100.0%)	
運 輸 交 通 業	9	6.1%	()	15	8.0%	()	-6 ()	-40.0%	(-)	
貨 物 取 扱 業			()			()	()	-	(-)	
農 林 業	15	10.1%	()	10	5.3%	()	5 ()	50.0%	(-)	
畜 産 ・ 水 産 業	3	2.0%	()	4	2.1%	()	-1 ()	-25.0%	(-)	
第 三 次 産 業 計 (運輸交通業、貨物取扱業を 除く)	65	43.9%	()	80 (1)	42.6%	(50.0%)	-15 (-1)	-18.8%	(-100.0%)	
商 業	卸 売 業	1	0.7%	()	3	1.6%	()	-2 ()	-66.7%	(-)
	小 売 業	17	11.5%	()	13	6.9%	()	4 ()	30.8%	(-)
	上記以外の商業	1	0.7%	()	3	1.6%	()	-2 ()	-66.7%	(-)
	計	19	12.8%	()	19	10.1%	()	()	()	(-)
通 信 業	3	2.0%	()	5	2.7%	()	-2 ()	-40.0%	(-)	
保 健 衛 生 業	医 療 保 健 業	2	1.4%	()	5	2.7%	()	-3 ()	-60.0%	(-)
	社会福祉施設	15	10.1%	()	20	10.6%	()	-5 ()	-25.0%	(-)
	上記以外の保健衛生業			()			()	()	-	(-)
	計	22	14.9%	()	69	36.7%	()	-47 ()	-68.1%	(-)
接 客 娯 楽 業	飲 食 店	2	1.4%	()	3	1.6%	()	-1 ()	-33.3%	(-)
	ゴ ル フ 場			()			()	()	-	(-)
	上記以外の接客娯楽業	10	6.8%	()	10 (1)	5.3%	(50.0%)	(-1)	(-100.0%)	
	計	12	8.1%	()	13 (1)	6.9%	(50.0%)	-1 (-1)	-7.7%	(-100.0%)
清 掃 ・ と 畜 業	ビルメンテナンス業			()	2	1.1%	()	-2 ()	-100.0%	(-)
	廃棄物処理業	5	3.4%	()	6	3.2%	()	-1 ()	-16.7%	(-)
	上記以外の清掃・と畜業	1	0.7%	()	1	0.5%	()	()	()	(-)
	計	6	4.1%	()	9	4.8%	()	-3 ()	-33.3%	(-)
そ の 他 の 事 業	警 備 業	1	0.7%	()	1	0.5%	()	()	()	(-)
	上記以外のその他の事業	4	2.7%	()	3	1.6%	()	1 ()	33.3%	(-)
	計	5	3.4%	()	4	2.1%	()	1 ()	25.0%	(-)
金 融 広 告 業	2	1.4%	()	3	1.6%	()	-1 ()	-33.3%	(-)	
映 画 演 劇 業			()			()	()	-	(-)	
教 育 研 究 業			()	2	1.1%	()	-2 ()	-100.0%	(-)	
官 公 署	1	0.7%	()			()	1 ()	-	(-)	
(陸 上 貨 物 運 送 業)	5	3.4%	()	8	4.3%	()	-3 ()	75.0%	(-)	

注 第三産業は通常、非工業的業種に運輸交通業、貨物取扱業を加えたものをいいますが、ここでは、非工業的業種の一業種(商業、通信業、保健衛生業、接客娯楽業、清掃・と畜業、その他の事業、金融広告業、映画演劇業、教育研究業、官公署)を第三産業と呼んでいます。